

広報

ただみ

4
2022 月号
No. 623
令和4年4月10日

今月の表紙

卒業シーズンを迎え、町内の小中高生たちが学び舎を巣立ちました。そこには、恩師や友人、後輩からの激励に涙を浮かべながらも笑顔で答える卒業生の姿がありました。

ご卒業された皆さん、本当におめでとうございます。これまでの思い出を胸に、新生活も頑張ってくださいね。〔写真：只見中学校〕

(関連記事：P 2～3)

《特集》

卒業式・満了式 2～3
感動をありがとう！只見高校野球部!!
..... 4～5

鳥獣被害防止対策の

補助金をご活用ください！ ... 6～7

《News&flash》 10

《町の話》 11～17



只見高校・卒業式

県立只見高校の卒業式は3月1日に行われ、30人（内、山村教育留学生8人）が卒業を迎えました。式では、卒業生を代表し酒井香苗さんが卒業証書を受け取った後、在校生を代表し岩佐優生さんが送辞を送りました。酒井さんが卒業生代表答辞を務め、「今まで支えてくれた両親や先生方ありがとうございます。卒業生の皆は距離に関係なく支え合える仲間です。今までありがとうございます。これからもよろしくね」と述べました。



▲送辞や答辞に涙を堪える卒業生



▶卒業証書を受け取る酒井さん



▶涙を浮かべながら式に臨む卒業生

感謝の心と新たな希望を胸に学び舎を巣立つ

3月、町内の高校・中学校・各小学校の卒業式と各保育所の満了式が行われ、子どもたちが学び舎などを巣立ちました。今年度も、新型コロナウイルス関連感染症の感染防止策としての縮小やマスク着用などの対応が取られる中でしたが、子どもたちは家族や先生、お世話になった人に感謝の想いを伝え、恩師や仲間、学び舎に別れを告げました。



▲1人1人に卒業証書が手渡されました

只見中学校・卒業式

只見中学校の卒業式が3月11日に行われ、41人が学び舎に別れを告げました。式では、星校長からお祝いの言葉とともに全員に卒業証書が手渡され、その後増田司さんが在校生を代表して送辞を送りました。

その後、卒業生を代表して酒井駿さんが「中学校生活の様々な出来事が一生の思い出です。在校生の皆さん、只見中の良い所である笑顔を絶やさないよう頑張ってください」と答辞を述べました。



▶答辞を述べる酒井さん



▶思い出を胸に退場する卒業生

小学校・卒業式

町内各小学校の卒業式が3月23日に行われ、只見小11人・朝日小6人・明和小9人がそれぞれ卒業を迎えました。

明和小では、卒業生1人1人が菅家校長から卒業証書を受け取り、中学校生活の目標や将来の夢などを発表しました。その後、1人ずつ家族に花を手渡し、感謝の言葉を伝えました。別れの言葉では、6年間の思い出とともに感謝の言葉が述べられました。

▶只見小学校卒業生



▶明和小学校卒業生



▶朝日小学校卒業生



令和3年度

卒業式・満了式

保育所・満了式

町内各保育所の満了式が3月25日に行われ、只見保育所7名・朝日保育所5名・明和保育所9名の園児がそれぞれ満了となりました。

只見保育所では、証書を受け取った園児たちが保護者に向けて「パパ、ママ、いつも楽しく遊んでくれてありがとう！」など感謝の想いを伝えました。最後は、花束を手に1人ずつ堂々と退場し、保護者の方々子どもたちの成長を肌で感じる満了式となりました。

▶明和保育所満了児



▶只見保育所満了児



▶朝日保育所満了児の園児



感動をありがとう!



只見高校野球部!!

**雨天順延などで
開始日時が繰り下げに**

只見高校野球部の試合は、当初21日の試合予定から、雨天による順延や第2試合の延長などで開始時間が予定よりも遅れ、3月22日18時26分に始まりました。この試合は、今センバツ大会初のナイターゲームとなったことや試合時間が確認できる第50回大会以降で最も遅い開始時間となりました。

**一塁側アルプス席、
パブリックビューイ
ング会場が只見色に**

町内の季の郷湯らりに設けられたパブリックビューイング会場には約140人の町民の方々が駆け付けました。甲子園球場1塁側アルプス席には約400人の町民の方々をはじめ、友情応援で駆け付けた東灘高校と神戸鈴蘭台高校の吹奏楽部の皆さんや保護者の方な

どを含め、約1000人が集まりました。応援者は、応援グッズとして準備した帽子やジャンパーを着用し、各会場は只見の自然を表す緑色に染まりました。

**落ち着いた守備を
見せた只見ナイン**

只見高校が後攻で始めた試合は、先発を酒井悠来さんが務め、1回表の先頭打者をセンターフライに打ち取りました。2番打者は内野安打で出塁させましたが、次の3番打者とダブルプレーに仕留めました。4回表には1塁ランナーの盗塁を阻止し、7回にも一塁ランナーを牽制でアウトにするなど冷静な守備を見せてくれました。

攻撃では4回裏、酒井怜斗さんが出塁すると、鈴木詠大さんの送りバントや相手のエラーなどでツーアウトランナー1塁、3塁のチャンスとなります。このチャンスで

打席に立った山内友斗さんが、ライトへのタイムリーヒットで1点へと繋ぎました。

この瞬間、アルプス席とパブリックビューイング会場が最高潮に達し、メガホンが打ち鳴らされたり、大きな拍手が上がったり、感動に涙を流す方も見られました。

只見高校の甲子園初得点となったこの1点は、会津地区から甲子園に出場した高校では初の得点としても大きな足跡を残しました。

**大きな感動と
勇気をありがとう**

残念ながら、1対6と試合には敗れてしまいましたが、最後まで笑顔で「全力疾走」した只見高校野球部の姿は、只見町のような過疎化や少子化が進む地域だけでなく、福島県や全国各地の皆さんに大きな勇気と感動を与えてくれました。



1



2



3



4



5



6



7

1 笑顔で戦い抜いた只見ナイン(写真提供：福島民報社) 2 長谷川監督の話を知る只見ナイン(写真提供：福島民報社) 3 只見色に染まる1塁側アルプス席(写真提供：福島民報社) 4 パブリックビューイング会場で応援する町民の皆さん 5 応援幕の仕上がりを確認する目黒邦友さん 6 町内事業所などに掲示された応援幕 7 馬場ミツさんのご自宅に掲示された手作りの応援幕

只見高校のセンバツ出場が決定してから試合日まで、只見高校を応援する幕が、町内各地に掲示され、町民の皆さんが一体となって只見高校の応援をしました。

24日に、選手が甲子園から戻ってくると「お帰りなさい！感動をありがとう！」の幕とともに保護者や町民の方でお迎えをし、選手たちへの感謝と選手たちからの感謝をそれぞれ伝え合いました。



鳥獣被害防止対策の 補助金をご活用ください！

令和3年度の実績

利用者件数

個人 …… 4件
 区 …… 4件
 組合 …… 1件
 実施隊 … 3分隊



サル用電柵



イノシシ用電柵

電気柵購入件数

イノシシ用 6件
 サル用 …… 2件

「被害がなくなった！」
 という声がありました！

令和4年度の補助金について

鳥獣被害低減のため今年度も実施します！

①個人で対策するなら

種類	補助率	上限
電気柵	2/3以内	10万円
防護ネット	1/2以内	5万円
緩衝帯整備	1/2以内 (10a当たり 2万円以内)	5万円
その他有効と認められるもの	1/2以内	5万円

②区や組合で対策するなら

種類	補助率	上限
電気柵 ネット その他	全額	70万円
緩衝帯整備	全額 (10a当たり 2万円以内)	5万円

③実施隊で行うなら

種類	補助率	上限
罾など鳥獣捕獲に係るものの購入	全額	70万円

※購入の際は隊長に申し出てください。

注意点

- 申請前に購入された場合は補助対象外です。
- 令和3年度に上限額までご利用された方でも、再度補助申請が可能です。
(同一場所を除く)



補助金申請から完了までの流れ

ステップ

1

被害現場の確認を
させて下さい。
→農林係に電話
☎82-5230



ステップ

3

1. 交付が決定したら「補助金交付決定通知書」「完了報告書」「請求書」をお送りします。
2. 交付決定通知書を受領後、資材を購入して下さい。
3. 設置する際は設置前写真を忘れずに撮影して下さい。

ステップ

5

補助金交付が確定
しましたら、「補助
金確定通知書」を
お送りします。
届きましたら以上
で完了になります。



ステップ

2

1. 申請書を送ります。
2. 記入されましたら「申請書」「見積書」「設置場所の地図」を提出して下さい。
※区の場合は「管理運用方針」が必要となります。



ステップ

4

設置が完了したら「完了報告書」「請求書」「設置前後の写真」「資材購入に関わる領収書」を提出して下さい。



完了



狩猟免許を取得した際の補助金について

狩猟免許及び銃所持許可等を取得される方や、された方に対しての補助金です。

補助金
対象者

只見町に住所を有し、かつ、町税等の滞納がない方

補助金
取得条件

新規取得者

- ①福島県猟友会南会津支部只見分会に入会
- ②只見町有害狩猟鳥獣捕獲隊及び只見町鳥獣被害対策実施隊に入隊
- ③隊員として5年間従事



更新者

- ①福島県猟友会南会津支部只見分会に入会
- ②只見町有害狩猟鳥獣捕獲隊及び只見町鳥獣被害対策実施隊に入隊
- ③隊員として3年間従事



試験を受ける前
にご連絡下さい



補助金を利用される方は、注意事項等ございますので試験を受ける前に農林建設課(☎82-5230)へご連絡下さい。

注意

返還について

補助金の交付決定を受けてから5年間または3年間従事されず除隊される場合、補助金を返還していただくこととなりますのでご注意下さい。

これが只見町の予算です

◆令和4年度只見町予算

令和4年度予算は、第七次只見町振興計画に示した町づくりの理念、基本的施策に基づき、地域の社会経済的な発展を目指し、各種事業へ取り組んでいくための編成となっています。

一般会計の予算規模は56億2,000万円となり、前年度対比3億3,000万円、6.2%の増となっています。また、各特別会計の合計額は26億7,060万円となっており、一般会計と合わせた令和4年度予算総額は82億9,060万円です。

◆一般会計 歳入

歳入は、「依存財源」(国や県から入るお金)が68.9%を占め、その中でも地方交付税の割合が最も高く、歳入全体の47.8%を占めています。

また、「自主財源」(町が独自に確保できるお金)では、町税が歳入全体の14.3%で、前年度に比べて578万円の増額となっています。繰入金も歳入全体の13.4%で、前年度に比べて3億8,927万円の増額となっています。

◆一般会計 歳出

歳出は、総務費の占める割合が最も高く、前年度比0.6ポイント増の17.3%となっています。主に、人事、財政、企画、情報管理、戸籍や統計など、他部門に分類されない事業に要する経費で、情報セキュリティ強化事業、只見線鉄道施設等維持管理負担金、福島再生加速化交付金事業などの新規事業により増額となっています。

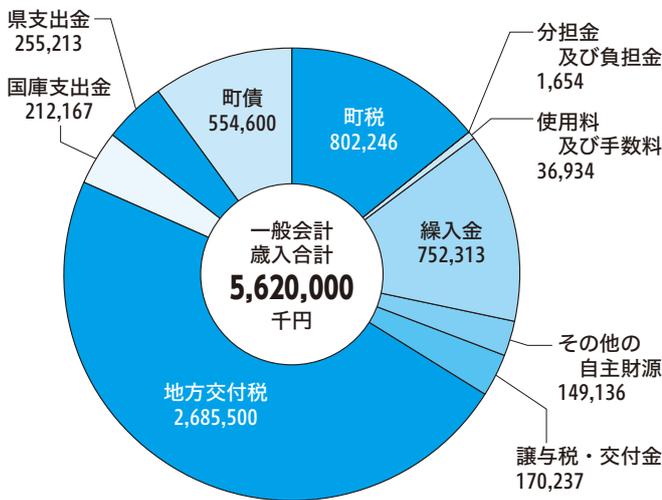
次に、民生費の占める割合が14.2%となっています。主に後期高齢者医療、介護保険、児童福祉、障がい者福祉などの安定した社会生活を保障するための経費です。

次に、土木費の占める割合が13.0%となっています。主に克雪対策事業、除雪機械の整備、町道改良工事、集会施設の整備などを行うための経費です。

次に、公債費の占める割合が12.0%となっています。これは、町債(町の借金)を返済するための元利償還金(元金と利子)です。

続いて、教育費、農林水産業費、商工費、衛生費、消防費、議会費、予備費、労働費、災害復旧費の順になっています。

2,000万円



■町税の内訳

町民税	1億3,687万2千円
固定資産税	6億2,822万4千円
軽自動車税	1,455万円
町たばこ税	2,063万5千円
入湯税	196万5千円

町民一人あたりにすると(3月1日現在人口 4,010人)

■一般会計支出額(使われるお金の額) 1,401,496円

■町税負担額(納めていただくお金の額) 200,061円

■歳入

(単位:千円)

項目	4年度	構成比	3年度	増減率
町税	802,246	14.3%	796,465	0.7%
地方譲与税	52,296	0.9%	47,956	9.0%
利子割交付金	240	0.0%	260	-7.7%
配当割交付金	1,000	0.0%	1,000	0.0%
株式等譲渡所得割交付金	1,000	0.0%	500	100.0%
地方消費税交付金	103,000	1.8%	99,000	4.0%
自動車取得税交付金	1	0.0%	1	0.0%
環境性能割交付金	5,500	0.1%	4,500	22.2%
法人事業税交付金	4,500	0.1%	3,400	32.4%
地方特例交付金	2,100	0.0%	17,164	-87.8%
地方交付税	2,685,500	47.8%	2,489,000	7.9%
交通安全対策特別交付金	600	0.0%	600	0.0%
分担金及び負担金	1,654	0.0%	1,403	17.9%
使用料及び手数料	36,934	0.7%	36,221	2.0%
国庫支出金	212,167	3.8%	212,156	0.0%
県支出金	255,213	4.5%	228,301	11.8%
財産収入	17,531	0.3%	163,100	-89.3%
寄付金	33,001	0.6%	15,001	120.0%
繰入金	752,313	13.4%	363,048	107.2%
繰越金	1	0.0%	1	0.0%
諸収入	98,603	1.8%	98,523	0.1%
町債	554,600	9.9%	712,400	-22.2%
歳入合計	5,620,000	100.0%	5,290,000	6.2%

■歳出

(単位:千円)

項目	4年度	構成比	3年度	増減率
議会費	72,280	1.3%	73,321	-1.4%
総務費	975,000	17.3%	969,341	0.6%
民生費	797,348	14.2%	807,733	-1.3%
衛生費	403,031	7.2%	360,684	11.7%
労働費	9,431	0.2%	197	4687.3%
農林水産業費	483,184	8.6%	495,691	-2.5%
商工費	468,257	8.3%	302,352	54.9%
土木費	732,561	13.0%	585,460	25.1%
消防費	317,781	5.7%	248,306	28.0%
教育費	638,060	11.4%	778,687	-18.1%
災害復旧費	13,510	0.2%	17,997	-24.9%
公債費	673,344	12.0%	619,461	8.7%
予備費	36,213	0.6%	30,770	17.7%
歳出合計	5,620,000	100.0%	5,290,000	6.2%

令和4年度の主な事業

■自然と共生するまちづくり

- 自然保護意識の醸成
 - 362万円 プナセンター推進事業
 - 1,009万円 学術調査研究人材育成費用
- 雪と共存するまちづくり
 - 4,598万円 除雪機械更新事業
 - 1,850万円 高齢者等除雪支援事業
 - 1,000万円 克雪対策事業補助金
- 道路網の整備と定住環境の整備
 - 4,693万円 町営住宅長寿命化事業
 - 4,584万円 道路新設改良事業
 - 1,614万円 空家活用対策事業
- 水環境の保全と上下水道の整備
 - 7,020万円 集落排水施設機能強化事業
 - 2,470万円 只見統合簡易水道整備事業

■文化に根づく人づくりと学び続けるまちづくり

- 将来の只見を担う子どもたちの教育の充実
 - 8,915万円 只見高等学校振興対策費
 - 6,063万円 スクールバス運行費
 - 1,419万円 学校給食費負担軽減事業
- 家庭教育力・地域教育力の向上
 - 2,280万円 地域学校協働活動推進事業
- 地域文化の振興（地域で育まれた人の技・物・食の伝承）
 - 2,295万円 ただみ・モノとくらしのミュージアム費
 - 1,398万円 八十里越調査事業
- 生涯スポーツ・レクリエーションの推進
 - 3,921万円 町下広場電気設備改修事業

■住民が主役のまちづくり

- 集落・振興センターでの住民交流を主体とした地域づくり
 - 8,638万円 集舎施設整備事業
 - 920万円 集落運営支援交付金
 - 900万円 自然首都只見地域づくり推進交付金
- 新たな視点による地域づくり
 - 1,086万円 移住定住促進事業
- 総合的な土地利用・公共交通体系の確立
 - 3,706万円 地域公共交通運行事業
 - 5,085万円 只見線利用促進事業

■住みやすいまちづくり

- 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
 - 1,084万円 新型コロナウイルスワクチン接種対策事業
- 安心して子どもを産み育てられるまちづくり
 - 1,178万円 子ども医療費無料化事業
 - 400万円 子宝祝い金事業
 - 150万円 幼児家庭保育支援事業
- 高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくり
 - 150万円 シルバー人材センター推進事業
- 安心して暮らせるまちづくり
 - 616万円 消防団機材等整備事業
 - 440万円 消火栓等新設改良事業
 - 1,016万円 防災対策事業

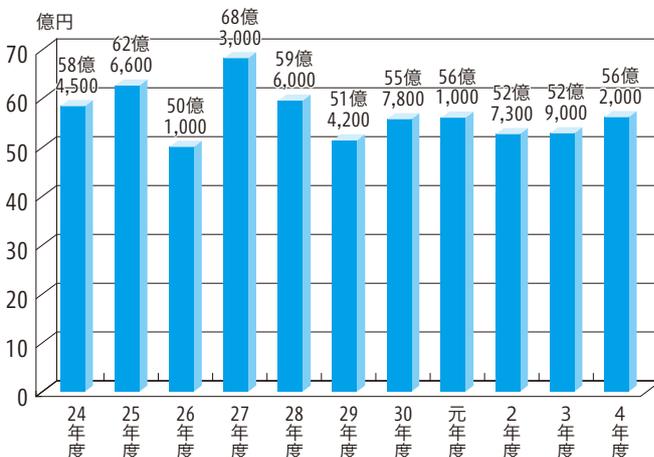
■働きがいのあるまちづくり

- 受け継ぎ託す、プライド農業の実践
 - 8,787万円 農業振興費
 - 1,577万円 鳥獣被害対策事業
- 豊かな森林を活かした林業の振興
 - 2,169万円 林業振興費
 - 217万円 薪ボイラー導入推進事業
- 活力と賑わいそして持続ある商工業の確立
 - 1,740万円 プレミアム商品券発行事業
- 地域経済の発展を担う魅力ある観光の推進
 - 1,800万円 雪まつり実行委員会補助金
 - 13,591万円 只見駅前賑わい創出事業
- 産業間連携による地域経済の発展
 - 1,100万円 特定地域づくり事業協同組合補助金
 - 1,006万円 第三セクター経営改善事業

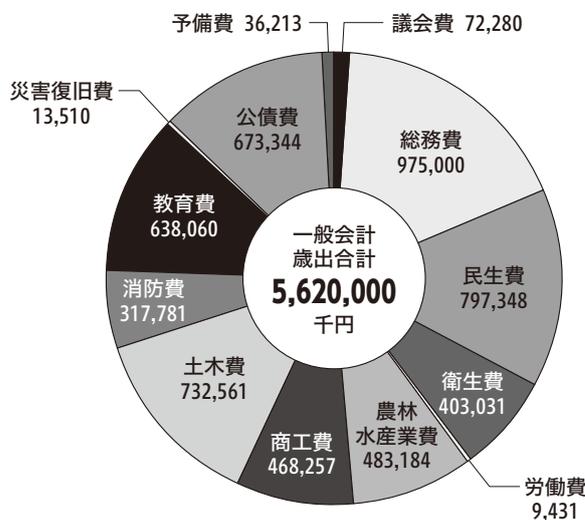
お金はどこから来て、どこへ行くの？

■一般会計当初予算額の推移

(単位：万円)



一般会計 予算総額 56億



■特別会計予算

(単位：千円)

会計区分	4年度	3年度	増減率
国民健康保険事業特別会計	500,000	508,000	-1.6%
国民健康保険施設特別会計	428,000	427,000	0.2%
後期高齢者医療特別会計	143,000	159,000	-10.1%
介護保険事業特別会計	783,000	789,000	-0.8%
介護老人保健施設特別会計	302,000	307,000	-1.6%
地域包括支援センター特別会計	14,000	13,600	2.9%
簡易水道特別会計	166,000	153,000	8.5%
集落排水事業特別会計	318,000	268,000	18.7%
朝日財産区特別会計	16,600	20,300	-18.2%
合計	2,670,600	2,644,900	1.0%

労働力確保・働きやすい環境づくりのため
「只見働き隊事業協同組合」
創立総会開催



▲創立総会に出席した組合参加事業所代表の方と来賓の方

安定的な労働環境の確保や人手不足解消を目的とした「只見働き隊事業協同組合」の創立総会が3月14日に開かれ、組合定款や事業計画について決議が取られました。

この組合は、国の「特定地域づくり事業協同組合制度」を活用して設立され、過疎地域の働き方の新たな選択肢として期待されています。

創立総会の冒頭では合同会社ねっかの脇坂さんが「この事業が只見町にとって良かったと思われるようなものとしていきたい」と発起人を代表して挨拶をしました。

只見町の水を守る新たな補助制度
「浄化槽維持管理費助成金」
「浄化槽設備修繕費補助金」施行

新しい補助金として「只見町浄化槽維持管理費助成金支給（以下維持管理費助成金）」「只見町浄化槽設備修繕費補助金交付（以下修繕費補助金）」が、4月1日から施行されました。

これは、浄化槽の適正管理の促進や適性機能の維持により水質汚濁を防止し、生活環境や公衆衛生の継続的な保全を図ることを目的とした補助制度です。

維持管理費助成金は、対象者の浄化槽の検査（※法第7条検査、※法第11条検査）費用を補助するものです。

修繕費補助金は、対象者の浄化槽修繕費用を補助するものです。

なお、詳細につきましては、4月1日発行のおしらせばんをご覧いただくか農林建設課（☎82-5270）へお問い合わせください。

※法第7条検査…浄化槽を設置して使用開始後3～8か月の間に1回受けていただく検査

※法第11条検査…毎年1回受けていただく検査

只見中 中学生記者が書く SDGsコラム

ペット フリー マンデー
第3回 『PET Free Monday』の取組(前編)

文：佐藤 優妃（3年生 SDGs委員長）



先月の『広報ただみ』にもあったように、只見中学校では2年上の先輩から新潟の海にゴミ拾いに行っていて私たちが3年目となりました。先輩方から話を聞いていましたが、やはりプラスチックゴミが多いことを知ることができました。先輩方はこれをきっかけに新聞紙レジ袋の作成を始めたのですが、その気持ちが分かりました。ここには日本や外国のゴミが散乱しており、それでも私たちがゴミを拾う10日ほど前に拾ったばかりだと聞き、ますます驚きました。先輩たちが続けてきた活動はこれからも続けていかなければならないと思っただけでなく、もう少し積極的に発信する必要があると考えようになりました。

10月の委員会改編により、私はSDGs委員長になりました。先輩方の活躍からすると少し荷が重いと思いましたが、何かできるチャンスとも感じたのでした。先生にも相談し、身近なペットボトル飲料に関する取組をスタートすることにしました。私たちの生活の中でよく使われているペットボトル。現在は飲料だけでなく、醤油やドレッシングの容器としても利用されています。ビンに比べると割れないだけでなく軽量なため、力があまりないお年寄りや子どもでも簡単に扱うことができます。軽いということは輸送の点でもCO₂の削減に繋がっています。委員会の話し合いや先生との相談で、この利点も活かしつつペットボトルの使用量を減らすには、ペットボトル飲料の利用を制限する日をもうけるのが良いのではという結論に達しました。これが、『PET Free Monday（ペットフリーマンデー）』の始まりです。これは先生から教えてもらったのですが、元 Beatles のメンバーであるポール・マッカートニーさんが立ち上げた運動「ミートフリーマンデー」という活動があり、この活動の名前をペットボトルに言い換えたものです。本家の「ミートフリーマンデー」は毎週月曜日の肉食を控え、畜産によるメタンガス（温室効果ガスの一つ）の排出を抑えるための活動だそうです。地球に優しくという点では、世界的なミュージシャンも只見中学校も、その思いは変わらないということになります。（5月号に続く）



地球温暖化防止への取り組みが評価

朝日小学校「福島議定書」事業(学校版)最優秀賞受賞

地球温暖化防止に向け福島県知事と協定を結んだ「福島議定書」に基づく取り組みの最優秀賞校に朝日小学校が選ばれ、同校6年生が2月25日に受賞報告と取り組み内容の発表に町役場を訪れました。

児童たちは、食品ロスゼロに全児童で取り組んでいることやゴミ削減に向けた活動について発表を行った後、町長や教育長に向け、地球温暖化防止に向けたワンステップアクションに共に取り組んでほしいことを伝えました。

また児童たちは2月14日に行われた「福島議定書」事例報告会にも参加し、県知事にオンラインで取り組み内容の報告を行いました。



▲役場で取り組み報告を行った朝日小6年生

只見町の感動シーンを展示

「只見大好き写真展」開催



▲訪れた方は只見町の風景に感動した様子でした

只見写真愛好会主催の「只見大好き写真展」が、3月20日から23日の4日間、柏市民ギャラリーで(千葉県柏市パレット柏内)開催されました。

今回の写真展は、「只見町ふるさと大使」や「ふるさと応援団」の皆さんが「コロナ禍で相互訪問が難しいため、只見町周辺限定の写真展を計画し、両市町の交流に繋げたい」と企画されたものです。

写真展には、只見町やその周辺の風景写真など64点が展示され、多くの方が足を運び素敵な作品に目を奪われていました。

全国どぶろく研究大会「どぶろくコンテスト」

佐藤泉太さん特別賞受賞

どぶろくの品質や技術、認知度を高め、地域活性化を図ることを目的とした「全国どぶろく研究大会 どぶろくコンテスト」が2月16日に開催され、「泉太のどぶろく ぶなの雫」が特別賞に選ばれました。

特別賞に選ばれたどぶろくを製造する民宿やまかのうや代表の佐藤泉太さんが、3月14日に役場を訪れ受賞の報告しました。

佐藤さんの製造するどぶろくは、自家産米と米麹だけを使用した昔ながらの製法で作られています。今回受賞した「泉太のどぶろく ぶなの雫」はフルーティで冷やすとさらに飲みやすくなるそうです。



▲受賞の報告をする佐藤泉太さん(左)

「誰も取り残さないクラス」 にするために



只見中学校1年生 齋藤 楓

私達のクラスは入学して十ヶ月が経ち、色々な会話をするようになりました。それは、同じクラスの仲間として過ごす時間が増え、仲が深まってきたということだと思います。

しかし、そんな私達のクラスにも問題があります。例えば、あいさつをする時と返さない時があることや、人の悪口を言ってしまう時があることです。そして、私が一番の問題だと考えているのは、「いつも同じ人と一緒にいる人が多いこと」です。仲の良い友人がいる人は多いと思いますが、私達のクラスは、仲の良い人とばかり関わっていて、それ以外の人と関わるのが苦手な人が多いように思います。それに関わる私の経験で、こんなことがありました。

ある日私が登校して友人と一緒に教室に入ると、ある人が一緒だった友人にだけ声をかけて、私には声をかけてくれなかったことがあります。その人の気持ちは私にはわかりません。話しかけにくさを感じていたのか、話題がなかったのかもしれない。しかし、その時私はとても悲しい気持ちになりました。

その日の夜、このような悲しい思いをする人を少しでも減らすためには、どうすれば良いだろう？と考えてみました。そうして考える内に思いついたのが、あいさつを大切にす

ることでした。中学校では、「みそあじ」といって、学校生活で大切な四つの大切なこと、「身だしなみ」の「み」、「掃除」の「そ」、「あいさつ」の「あ」、「時間を守る」の「じ」の頭文字で作られた言葉を合言葉にしています。

改めて考えてみると、あいさつは、たとえ相手に話にくさを感じたり、話題が思い浮かばなかったりしても言葉を交わすことができるので、コミュニケーションの始めにぴったりだと思います。私は、そう考えるようになってから、どんな人にも積極的にあいさつをするように意識しています。そうするようになってから、今までなかなか話せていなかった人とも、少しずつ話せるようになってきました。この経験をクラスの皆に教えて、いままでよりもっと仲の良いクラスにしていきたいと思っています。私が感じた「あいさつ」の大切さですが、只見町の中ではどうだろう？と思いました。

そんなことを意識して自分の家の周りや、普段よく行く場所の人達の姿を見ていると、只見町の人達は、日ごろからあいさつをしていて、それだけでなく、お話もたくさんするということに気づきました。

その時は、只見町は人のつながりがあって温かい町だなと感じまし

た。冬は寒さが厳しく、雪もたくさん降りますが、この「人の温かさ」が只見町の良いところだと思います。かつて、只見町を襲った豪雨災害もきつと町の人達で声を掛け合い、支え合いながら乗り越えてきたのだと思います。

皆さん、最近の生活を振り返ってみてください。あいさつはできていますか？人とのつながりを大切にしていますか？普段から声を掛け合い、お互いに支え合える只見町をこれからも残していきたいです。

そのために、私達中学生も、只見町の一員として、あいさつや互いを思いやる気持ちをもって、つながりを大切にしながら生活していきたいです。



只見中のSDGsの取組と 私たちにもできること



只見中学校2年生 齋藤 有紗

みなさんは、SDGsという言葉を知っていますか。これは「サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ」の略で、現在世界が直面している課題に対して十七の大きな目標を示し、それを達成するための細かなターゲットが百六十九設定されているものです。SDGsは国連が定めたものなので、私が中学生になる前は、ニュースで聞いたりしても、色々な国が解決するものだとか考えられず、身近に感じることもありませんでした。しかし、中学校でのSDGsに関する学びや活動を通して、SDGsは国籍や老若男女を問わずすべての人が取り組まなくてはならないことであり、それはただの学生である私達も例外ではない、ということがわかりました。そう思ったのは、一人一人の力は小さくとも、その力が集まれば大きな力となり、地球を守り、より良い方向へ変えることができる様々な経験を通してわかったからです。

現在、中学校でSDGsを意識して取り組んでいる新聞バッグ作りは、直接海をきれいにするわけではありませんが、海洋のプラスチックごみを減らすための活動になっています。山間地の只見と海は一見つながりが薄いように思われがちですが、只見は川を通して海と密接につながっています。只見を流れる只見川は、日本海へ流れる川の上流に位置する川なので、只見川にごみが捨てられれば、それはそのまま日本海に流れ着き、海洋ごみになってしまふのです。それだけでなく、もしそのゴミがプラスチックであれば、流れていく間に徐々に分解されてマイクロプラスチックとなってしまい、回収するのが難しくなるのです。このように、私達の生活が海に及ぼす影響は小さくないのです。

逆のパターンもあります。長い間問題視されている地球温暖化の影響で海水温が上昇すると、雨が増えると言われています。以前、新潟福島豪雨の被害を受けた只見町の写真を見たり、話を聞いたりしたことがあります。自分の町で本当にこんなことが起こったんだと、信じられないくらい酷い災害だったのだと知りました。あの災害は、悪い条件が重なって起こったものでしたが、このまま地球温暖化が進むと同じような災害が起きてしまうかもしれません。

このようなことは、世界中でも考えられます。私達は昨年、キリバスという島国に住んでいるケンタロ・オノさんの話をリモートで聞きました。その話によると、現在キリバスでは地球温暖化の影響で海水面が上昇してしまい、国土が海に沈みつつあるそうです。それだけではありません。キリバスの人々が使う水が海水でダメになってしまい、生まれたばかりの赤ちゃんが生きるために海水を飲んでいふのです。

このような辛い思いをする人達を減らすために、環境に負担をかけるようなことはひかえるべきですが、完全になくすことは難しいと思います。しかし、地球の人間が一人一人少しずつ環境を意識した行動ができれば、地球の環境の悪化をくい止める力になれるのではないのでしょうか？

大切なのは、小さなルールを定めることと、気づいたときに取り組むことだと思います。

例えば、買い物にマイバッグを持っていくことや、なるべくペットボトルを買わないなど、簡単なことから始め、それを広げていくとよいと思います。

地球の環境を守るために、皆さんもぜひ、できることから実践してみてください。



『身近な差別』に 気付いていますか？

只見中学校3年生 堀金 康太



皆さんは、「差別」についてどのくらい知っていますか？

私は以前、テレビのニュースで、ジョギングをしていた黒人の方が白人に銃で撃たれたという事件について知りました。私はそのニュースを見て、怒りがこみ上げてきました。

なぜ、同じ人間なのに、肌の色の違いだけで差別され、一方的に暴力を振るわれなくてはならないのでしょうか？肌や目の色の違いだけで、人の性格や思想の判断ができるのでしょうか？私は、絶対にそんなことはできないと思います。また、人との間にトラブルがあった時、暴力でも何も解決できません。それどころか、互いの中に憎しみが残るだけで、良いことは何も無いと思います。

話は変わりますが、皆さん自身は差別をしたことがないか？自信をもって言うことができますか？私は、自分が気づかない内に差別をしていたことがあります。

昔、人の性格や内面を外見だけで決めつけてしまい、人によって対応を変えてしまう、ということをしてしまったのです。そのことを思い出したとき、自分のその時の行動は、ニュースで見た「黒人差別」と変わらないようなひどいことだったのだという事に気づきました。そしてすぐに自分の行動を後悔しました。

差別を受けた人は、その心に深い傷を負ってしまいます。それどころか、差別が原因で命を奪われてしまったり、自ら命を絶つたりすることもあると考えられます。私たちが思っている以上に、差別というものはそれを受けた人たちに辛い思いをさせているということに、気づかないといけないと思います。

そしてその差別というものは私たちが住む只見町にも存在しています。例えば、町のお店の中などで、マスクをしているにも関わらず、せきやくしゃみをするだけでその人を見つめる人を見かけました。これも、感染症に対する思い込みと差別から来てしまうものだと思います。自分では差別をしていないつもりはなくても、気づかぬうちに差別になっってしまったことが私たちの生活の中ではたくさんあると思います。しかしその差別は、場合によっては人の命を奪いかねないということをお忘れなくしたいと思います。

差別をなくすためには、発言や行動をする前に相手の気持ちや立場を思いやり、自分の立場に置き換えて判断することが大切だと思います。そういう心遣いを広げていくことで世界から少しずつ差別をなくしていきたいと考えています。

すために、まずはこの只見町を、相手を気遣い、思いやることのできる優しい町にしたいです。そのためにどうか力を貸してください。よろしくお願いします。



誰もが行ってみたい 只見町



只見高校1年生 菊地 新大

みなさん、こんにちは。私は、只見町で暮らして今年で十六年目になります。私は只見町のダムや旅行村などの場所が好きです。

しかし、現在の只見町は若者のための場所が少ないと感じています。そのため休日に気軽に遊びに行ける場所がありません。

このような機会をいただいたので、本日は、「若者も楽しめる只見町」について、私なりの視点で考えたことをお話しします。

まず、一から何かを作るのではなく、今あるものを活用する方法を提案します。

第一に、現在ある町民プールを室内プールにすれば良いのではないかと考えます。町民プールを室内プールにすることで、施設を一年中使用することができるようになります。そうすれば、活用の幅が広がり、若者だけではなく、全世代の人達が使用することが出来ます。

第二に、只見町にも多くある空き家をカフェなどにすれば良いのではないかと考えます。

ネット接続が可能な環境を整え、お金のない学生でも利用しやすく、新たな憩いの場が生まれます。

第三に、心志塾に一人で勉強できるスペースを設置すれば良いのではないかと考えます。現在の心志塾は、全員が集まって勉強会をしていると

友人から聞きました。勉強を集中して行いたいという生徒も少なくないと思います。残念ながら、福島県は全国的に見ても学力が低い県です。一人で勉強ができるスペースを設けることで入塾者が増え、只見高校生の学力向上にもつながると考えました。学習環境が整うことで、只見町に来る若者が増えると思います。

次に、現在只見町にないもので、あつたら良いと思うものについてです。

第一にボウリング場です。昔は只見町にも実際にあつたと伺っています。みんなで遊べる場所が町内にできれば、自然と若者が集まるのではないかと考えます。

第二に、木を使ったアスレチックを作るのが良いと思います。やはり只見町の魅力は豊かな自然だと思えます。その魅力である自然を利用したアスレチックを作れば、町外へのPRにもなるのではないかと考えました。

第三に、大きな公園があると良いなと思いました。広い公園にすれば、小さな子供達だけではなく、多くの人達が利用し、会話が生まれる場所になるのではないかと考えました。憩いの場での交流をきっかけに、只見町に活気が生まれることにもつながると思います。

第四に、一人の時間を過ごせる場

所があると良いと思います。一人の時間を過ごせる場所には、カフェやレストランなどがありますが、私は特にネットカフェが良いと思います。個室になっており、一人の時間を確保して集中することが出来ます。さらにパソコンなどを置けば、勉強をした際などに調べものができる、作業効率が向上すると思います。

第五に、インスタ映えする場所、物を作れば良いと思います。みなさんは「インスタ映え」という言葉をご存知ですか？「インスタ映え」とは、インスタグラムというスマートフォンアプリに投稿した際に「見映えの良い」「印象的」な写真のことを指します。流行するか否かはインスタ映えするかどうかが左右することもあり、とても重要です。

只見町にもインスタ映えスポットはたくさんあります。大自然などの私たちにとってあたりまえの景色にも改めて目を向けることで若者が増えることは間違いありません。

このように、只見町の今ある魅力、そして流行を利用して、若者のための場所を作ることが提案します。きっと只見町の未来を担う若者達が只見町に増えてきます。ぜひ大好きな只見町の未来のために、私の考えを聞いていただけたらとてもうれしいです。

将来の目標



只見高校1年生 ^{すずき} 鈴木 ^{りこ} 莉子

私の夢は子供達に慕われる保育士になることです。幼い頃に通っていた保育所の先生に憧れたことがきっかけでした。いつも笑顔で、ダンスや読み聞かせも全力で、このように素敵な大人になりたいと思いました。また、中学生のときには、職業体験で保育所に行きました。小さい子供と触れ合ったことで、通っていた頃には知らなかったことを知り、保育士になりたいという気持ちが強くなりました。

高校入学後、私は本格的に保育士を目指すために、真剣に進路のことを考え始めました。高校でも職業体験があったので、迷うことなく保育所での体験を希望しました。職業体験は二日間で、中学生のときにお世話になったところとは違う保育所に伺いました。体験が始まって一番に知ったことは、保育士は体力が必要な仕事だということです。保育所の子供達は、だっこをせがんだり、追いかけてこの鬼をしてほしがったりと、初対面の私にとってもフレンドリーに接してくれました。子供達は疲れを知らないのか、お昼ご飯の時間になるまでずっと走りまわっていたので驚きました。私は部活動で剣道部に所属しているので、剣道を通して一日中子供達の相手をできるような体力をつけたいです。

また、体験中にとっても印象に残った出来事があります。絵を描く時間

に子供達が黙々と取り組んでいて、指示された時間を過ぎてしまった時のことです。私は、時間を知らせるべきか担当の先生に伺いました。すると、先生は、「自分達で気がつくまで待っていてあげて」

とおっしゃいました。その時、子供に接する際には、教えるだけでなく、自分で気づかせることも大切なのだと知ることができました。

二日間の体験が終わり、家で日誌をまとめながら、保育士は、自分が思っていた以上に忙しく、重要な仕事だと思いました。私が以前に読んだ漫画のセリフで、印象的なものがあります。

「子供って乾く前のセメントみたいななんですって。落とした物の形がそのまま跡になって残るんですよ」

子供達は一日の多くの時間を保育所で過ごします。そのため、保育士の何気ない言動が子供達の未来まで関わるかもしれないのです。子供を預かる上で「子供が好き」という思いだけでではなく、責任が伴うことを実感しました。私の中で、保育士への考え方が変わりました。

私には、保育士になるために克服しようとして挑戦していることがあります。第一に、物事を効率よく進めるといことです。中学生の頃から、生徒会に入ったり、合唱の伴奏者だったり色々なことをしてきました。

しかし、一気にたくさんの仕事をしなくてはいけなくなると、どれか一つにしか集中できなくなり、他のことがおろそかになってしまいます。複数のことも同時並行で進めていく力は、社会人でも必要なことだと考えました。中学校では一度諦めてしまったのですが、高校でも頑張ってみようと思いました。生徒会に立候補し、活動を始めてからは、積極的に仕事をするようにしています。部活動も勉強も忙しいですが、すべて完璧とはいかなくても最低限のことではできるように、自分なりに努力していきたいです。

第二に、人として成長することです。私は子供達が一番最初の先生としてふさわしい存在になりたいと思います。そのために、私がこれから大切にしたい言葉は、「人は鏡」というものです。これは、部活動の顧問の先生のお話によく出てくる言葉です。保育士になる上でとても大切な考え方だと思うので、意識して生活していきたいです。

実は、私は努力をすることがあまり得意ではないと思っています。辛いことや苦しいことが苦手です。すぐに逃げてしまうからです。しかし、今回はこのような機会に恵まれました。初心を忘れることなく、改めて気を引き締めて生活したいです。そして、夢の実現に向け、日々諦めずに努力していきたいと思っています。

努力とは



いわさ ゆうせい
只見高校2年生 岩佐 優生

私が生きる上で大切だと思うことは、努力をすることです。なぜなら、努力とは自分の力で生み出すことのできる価値のあること、自分に意思が無ければ続けることが出来ないことだからです。努力を積み重ねていくことは大切です。また努力をすることそのものに意味があり、かけた時間は自分だけの大切な経験になると考えています。

今でこそこのように考えることができるようになりましたが、昔は中学生の頃にバスケットボール部に所属していませんでした。ある時、シユートがうまくならない不安を抱えていて、バスケットボールを嫌いになってしまいました。しかし、ある一人のプロバスケットボール選手の動画を偶然見つけました。アメリカのプロバスケットボールリーグNBAのロサンゼルスレイカーズに所属していたコービー・ブライアント選手の動画です。彼は努力の天才です。私が感銘を受けた言葉を紹介させていただきます。「自信喪失する事もある。不安になることもある。失敗への恐怖を持っている。僕らはみんな不安を抱えている。それは否定しなくていい。だが見過ごす必要もない。その不安を抱きしめるんだ」

本人は全く気にしていないんだ。周囲の人たちは気の毒に思ったかもしれないが、本人は全然平気だったよ。そんなことよりも失敗の原因を突き止めることが先なんだよ。失敗には必ず根本的な原因があつて、その問題と向き合えば解決する」

このように、彼は落ち込むよりも前に、なぜシユートが入らないのかと考え、分析し、その問題を解決していきましました。この話を聞いて私は感動しました。なぜシユートが入らないのかを彼のように分析し、問題を見つけて意識しながらシユートを打つようにしました。練習しているうちに安定してシユートを決められるようになり、努力をすることが楽しいと感じました。

コービー・ブライアント選手は、分からないことがあれば誰かの真似をし、そこから学んでいく努力をしていました。私も実践してみたのですが、真似すること自体は簡単でも、自分の力にするのが難しかったです。しかし、真似をする楽しさ、物事を学ぶ大切さを感じる事ができました。その他にも彼から学べる事が多く、これからの彼の活躍に期待して日々を過ごしていました。

しかし、そんな私を絶望させる出来事が起きました。二〇二〇年一月十六日に、娘と一緒に乗っていたヘリコプターが墜落して、コービー・ブライアント選手らが命を落としました。私は悲しみに、ショックを受けました。コービー・ブライアント選手は、私に努力する大切さ、不安を持っていてもよいということ、これからのように生きていくべきかを示してくれた

恩人であり、最も尊敬する人物です。彼が生きた証として、その言葉を大切にしたいと心から思いました。

私は高校入学後も彼の教えを胸に様々なことに取り組みました。最近、大きな挫折を経験しましたが、冬季球技大会でのことです。イベントは生徒会が主体となって運営しました。当日は全校生徒の楽しむ姿が見られ、無事に開催できたことも評価していただきました。しかし、頭の中に多くの課題が浮かんできました。やるべき仕事を完ぺきに行うことができず、自分のふがいなさを実感しました。とても悔しかったです。事前準備がしっかり行えず、役割分担や当日の動きを最後まで入念に確認し、準備をすることができていませんでした。しかし、この経験を活かして今年の秋に開催予定の大文化祭を大成功で終われるように努力したいと思います。

そして、もう一つ目標があります。それは、親に恩返しすることです。地元の埼玉県から遠く離れたこの只見町で楽しく生活できているのも町や親の支援があるからです。ずっと支えてくれて、見守ってくれて、帰省した際には温かく「おかえり」と言ってくれる親に、これまでの感謝と敬意を「ありがとう」という言葉で伝えたいです。

最後に、私はコービー・ブライアント選手に出会えたことを一生の宝物だと思っています。これからも、努力を大切に、彼から学んだことを忘れずに生きていきたいと思えます。そして数々のことを経験してこれからの人生につなげていきたいと思えます。

広報ただみ診療所

朝日診療所 所長 わかやま 若山 たかし 隆



新年度になりましたね。朝日診療所は4月から新しい常勤医師を迎え、常勤医が2名から3名に増えました。新しい先生の名前は山並先生といいます。詳しくは次回の広報只見診療所で本人から直接自己紹介してもらおうと思いますので、みなさま楽しみにお待ちください。

さて、新型コロナウイルスワクチンの追加接種も2月と3月の間でみなさまの協力もあり多くの方に実施できました。小児や10代の若い方のワクチン接種も広まってくれば、集団免疫もより強固なものとなります。前回の広報只見診療所でもお伝えしましたが、ワクチンによる重症化予防効果は少なくとも4か月以上保たれるようですし、治療薬もでてきました。コロナに感染しても以前より重症化しなくて済む状況になってきていると思います。雪が解け、春の陽気に季節が変化していくように、ゼロ・コロナからウィズ・コロナに少しずつ変化しても良いのではないかと思います。

それにしても、この2年間を振り返ってみればとても忙しかったなあと思います。深夜の急患対応はお休みさせていただいておりましたが、感染対策をしての患者対応、24時間365日の入院患者・高齢者施設の対応、訪問診療、保育所や学校医としての活動、新型コロナウイルスワクチン接種の実施など…。大変ではありましたが、診療所同僚たちの助けはもちろんですが、町民のみなさまの応援やご配慮があればこそ、頑張っただけでした。この場をお借りして、改めて感謝させていただきます。新年度もどうかよろしく願いいたします。

地域おこし協力隊として Vol.88

冬の只見に希望と早い春を届けてくれた
只見高校野球部

只見町観光振興協力隊 よこやま 横山 よしみ 儀巳



この原稿を書き上げているのは選抜高校野球大会開幕前、そしてこの記事が掲載されるのが大会閉幕後となりますが、3月9日、春を感じさせる晴れ渡った日の朝、只見高校野球部が晴れやかな表情で元気に甲子園に向けて出発していきました。保護者、関係者や町民が多数集まり、生徒たちも町民の温かい応援を肌で感じてくれたのではないかと思います。甲子園では「全力疾走」で只見らしい風を吹かせて、晴れやかな顔で帰ってきてくれるものと思っています。

今回の甲子園出場は、心はコロナ禍、体は毎日の雪かたしで心身共に疲れていたこの冬の町民に、叶わない夢はないんだという勇気と希望そして元気を与えてくれました。町民の誰しものが応援してくれましたが、今回は町外においても会津代表として域内の様々な会社や団体の応援、そして全国から多数の寄付も集まり、只見町民であることを誇りに思える出来事でした。

この秋の只見線全線再開通に先んじて、「只見線の町」が「只見高校の町」として全国に知れ渡り、只見線以上のインパクトで「只見」が間違いなく全国区となり認知度が上がるものと思っています。

高校野球を直接「観光」に結び付ける訳にはいきませんが、およそ半年後に迫った只見線全線再開通に向けた盛り上がりの後押ししてくれることは間違いのないと思います。

さて、只見線全線再開通に合わせて整備することとしております駅前賑わい創出事業については、雪解け以降に工事が本格化していきます。施設造りにあたっては、只見駅前の顔として位置付けられることを念頭に設計し、町民・観光客問わず高齢者から乳幼児連れの家族、高校生まで世代を問わず気軽に利用でき、地域に愛されるお店を目指し、“地域おこし”の一端を担っていければと思っています。

只見ユネスコエコパーク Q&A(5)

Q

只見町ではブナを伐^きって、有効活用してはいけないのですか？

A

よく聞かれる質問ですが、これに答えるにはまずは只見町のブナ林にかかる歴史的な経過と森林の所有区分を分けて説明する必要があります。

戦後の高度経済成長期に、国は急増する木材需要に応えるため、それまで利用価値が低いとされてきたブナをはじめとする落葉広葉樹林をパルプ用材として資源化するために伐採し、その伐採跡地に成長の早いスギなどを植栽する拡大造林政策を全国的に展開しました。只見町においてもブナが多い奥山地域(国有林)の開発が急速に進み、地元には経済的な恩恵をもたらしました。しかしその一方で、森林伐採が広範囲に及んだことで下流域に大きな影響が出ました。それが、1969(昭和44)年7月、集中豪雨に起因する洪水と土砂災害による複数の集落の被災と、集団移転です。この災害が発端となり、上流域の森林伐採が被害を拡大させたとの認識が生まれ、町ぐるみでのブナ天然林の伐採反対運動が始まることになりました。しかし、度重なる只見町の要請にもかかわらず林野庁前橋営林局(現在の関東森林管理局)は、伐採量を減らすことはするものの、伐採を中止することはありませんでした。そうした中、2005(平成17)年、町内にある国有林でブナ天然林の無許可伐採が明らかとなり、関東森林管理局は伐採を中止せざるを得なくなります。

これを契機に管理局は地元の要請に沿ってブナ天然林の取り扱いを見直し、その結果、只見町を含む奥会津地域の国有林のほぼ全域を保護対象に決定し、2007(平成19)年に奥会津地域の国有林の約87,000haを「奥会津森林生態系保護地域」(保護林)と「会津山地緑の回廊」に設定しました。これにより、只見町内の国有林のブナ林などは法制度に基づく保護の対象となり、現在ではユネスコエコパークの核心地域および緩衝地域ともなっています。

一方、只見町の集落周辺の民有林にもブナなどの広葉樹林が存在します。これらの林は、かつては薪炭林などとして使われ、住民生活を支え、その後再生した林です。現在も、保安林などの伐採制限を除けば伐採利用を含めた活用が可能な林となっています。これらの大部分がユネスコエコパークの土地利用区分の移行地域に該当し、自然環境・野生動植物の保護・保全に配慮しながら、持続可能な形で活用する中で地域の発展に繋げていくことはユネスコエコパークの理念・目的からも推奨されるものです。

つまり、ユネスコエコパークである只見町では国有林などの自然度の高いブナ林は保護・保全しつつ、集落周辺の民有林等のかつて利用していたブナ林などは環境教育、エコツアー、伐採利用など持続可能な形で利活用し、地域の発展につなげ、ブナ林と人との共生を実現することが重要となっています。



保護すべきブナ天然林



持続可能な形で活用が期待されるブナを含む広葉樹二次林



町民文芸

只見短歌会 令和四年三月詠草

雲かかり見慣れし山の浅草は今日は曇りて頂き見えず
馬場 八智

裸木にとどまる雪は花々に劣らぬ程に我の目をひく
目黒 富子

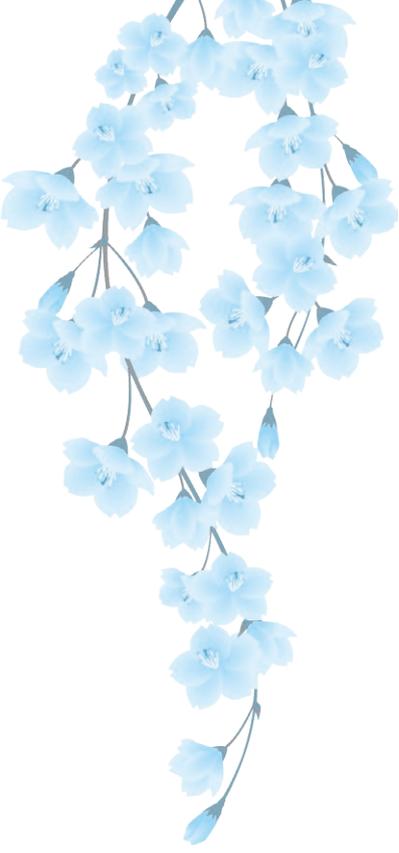
豪雪の晴れ間に集ふ小学生雪像作りマスク賑はふ
関谷登美子

コロナ禍に鼻水の出る幼な孫保育所休みスマホで遊ぶ
新国由紀子

堅雪で足跡見つけ写真撮り何かと孫らはスマホを使ふ
渡部ヨリ子

朝十時送迎車に乗り初雪の説明聞きつつこぶし苑に着く
新国 洋子

(出詠順)



只見俳句会 三月定例会

日高俊平太 指導

キルト刺し目の整うや雪晴れ間
雪晴れや朝餉準備の軽やかに
一 恵

大つらら見上げながらの村湯かな
合格の孫とラインで乾杯す
真理子

時雨ありまた雪ありの春の丘
春晴に誕生祝の笑顔あり
睦 子

雪の層見上げしあの日忘れ得ず
凍返る間近に白き山見えて
紺 青

春浅き谷地に色あり座禅草
車はや見えず今年の雪しんしん
妙 子

照るでなく降るでなき四圍朝おぼろ
窓明り背に毛糸の色合せ
礼

冬囲う繩の緩みや春兆す
球児等に雪の町人拳上ぐ
一 穂

黒松の凍てし葉先へ朝日影
鼻かみて一句浮かびし寒の内
修 一

訛飛び交う花冷えの甲子園
躍動す選抜の春を語り継ぐ
信

「おはよう」と交す言葉に軒氷柱
水底に一筋光る冬の川
都

残り糸すべて編込む日向ぼこ
雪女すべて隠せり雪の朝
味代子



今月のお知らせ

人事

只見町新規職員

●新規職員（4月1日付）

▽朝日診療所 医師
兼 介護老人保健
施設施設長
山並 寛明



▽農林建設課
農林係
滝沢 智宏



▽町民生活課
町民係
吉津 勇



▽町民生活課
町民係
高橋 茉莉



電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎84-2221
こぶし苑	☎84-2612
只見振興センター	☎84-2101
朝日振興センター	☎82-2141
明和振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

お知らせ

多重債務・貸金業に関する相談窓口

財務省福島事務所では、借金でお悩みの方々からの相談に応じています。借金の状況をお聞きし、必要に応じて弁護士・司法書士などの専門家に引き続きを行います。相談は秘密厳守、無料です。お気軽にご相談ください。また、貸金業者の登録状況に関する問い合わせや不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受け付けています。

【相談窓口】

福島市松木町13-2
財務省福島財務事務所 理財課

【受付時間】

月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く）
8時30分から12時00分、13時00分から16時30分まで

【電話受付】（相談窓口専用）

☎024-5331-0064

交通事故相談窓口

県では、交通事故による損害賠償や示談の仕方などについて相談を受け付けています。相談は秘密厳守で無料です。お気軽にご相談ください。

【相談窓口】

福島市杉妻町2番16号
福島県庁2階県政相談コーナー
☎024-521-4281

【受付時間】

月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く）
9時から12時、13時から16時まで

県政相談窓口

県政相談窓口では、県民の皆さんが抱えている様々な問題を専門の相談員が面接や電話でご相談にいたします。相談は無料で秘密は厳守されます。迷ったらずにはお電話ください。

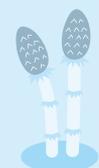
○相談内容

・県政に対するご意見・ご要望

税 今月の納期

4月25日までに納めましょう

- 固定資産税（1期分）
- 農集排使用料（4月分）



・生活上の悩みや困りごと（夫婦関係・金銭貸借・年金）など

○相談方法

面談、電話、文書

○相談場所

福島県会津若松市追手町7-5
会津若松合同庁舎本館1階
県政相談室
☎0120-899-724

○受付時間

9時～12時 13時～16時
(土日祝除く)

広報広聴に係るお問合せ

新年度から広報広聴機能が、総務課総務係に異動いたしました。これに伴って、広報広聴に係るお問合せが次のとおりとなります。なお、メールアドレスにつきましては変更ありません。

○お問合せ先

総務課総務係
☎82-5210

Mail: koho@town.tadami.lg.jp

只見中学校 令和3年度文部科学大臣 優秀教職員表彰受賞

全国の国公私立学校（大学、高等専門学校除く）を対象に優れた成果を上げた現職の教職員や学校等を表彰する「令和3年度文部科学大臣優秀教職員表彰」の表彰式が行われ、只見中学校が受賞しました。

只見中学校は、「海を通じて世界の課題に目を向け、自分たちに出来ることを考え実践し、その発信により地域内外の意識を高め、SDGsの実現に貢献している」ことが評価され、受賞となりました。



▲表彰状と盾が渡部教育長から星校長先生に
伝達されました

町長から

只見町長 渡部 勇夫

◆只見高校野球部の皆さん、感動を本当にありがとうございました。

また、出場にあたり、コロナ禍や豪雪といった状況で練習環境の確保が大変だった中、長谷川監督をはじめ、学校関係者の皆様のご苦労とご努力に改めて敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

◆町消防団長の目黒邦友さんは、只見高校の春の甲子園（センバツ）の出場が決定した際、いち早く「甲子園出場おめでとう」という幕を作って町内の仲間と共に事業所や商店等に飾り、祝意を表しました。そして、選手たちが土の上でようやく練習でき、只見町に帰ってきた際には、「サプライズ花火」を打ち上げ、選手たちを労いました。

また、試合当日に甲子園で只見高校の応援をされていたと思ったら、試合終了後すぐに只見町に戻られ、翌日の小学校の卒業式の写真撮影に臨まれました。さらに「お帰りなさい！感動をありがとうございます」という横断幕を作って、町に帰ってきた選手たちを迎えられました。

只見高校野球部の選手たちや小学校を卒業する子どもたち、そしてそのご家族を思つての献身的な行動力には感謝の言葉しかありません。

◆国道252号（六十里越）の「あいよし橋」が雪崩によつて流出したと、3月11日に福島県から発表がありました。同月16日には南会津建設事務所長を本部長とする対策本部会議が開催され、私も出席しました。

今後は、現場まで行く道路除雪をまずは進め、う回路の確保について検討することになりました。あわせて、科学的な原因究明の必要性の意見がありました。

私からは、早期のう回路確保と今後も雪崩は起こる可能性があるため、抜本的な対策についてもお願いしてきます。

町長スケジュール (3月分)

- 1日 みやぎ会津会会長寄附来庁
- 2日 只見町議会3月会議（～11日）
- 9日 只見高校野球部甲子園出発式
- 11日 只見中学校卒業証書授与式
- 14日 「全国どぶろく研究大会どぶろくコンテスト」特別賞受賞報告（入叶津 佐藤泉太氏）、会津電力(株)代表取締役社長来庁、只見働き隊事業協同組合設立総会
- 15日 臨時庁議
- 16日 季の郷湯ら里(株)取締役会、国道252号あいよし橋雪崩流失等に係る第1回南会津地方対策本部会議（於：南会津町）
- 17日 南会津警察署長退職挨拶来庁
- 18日 只見町プナセンター運営委員会、只見駐在所離任職員挨拶来庁

- 19日 佐久間源一郎氏旭日双光章受章祝賀会（会津若松市）
- 22日 第94回選抜高校野球大会（甲子園）只見高校野球部応援（兵庫県）
- 24日 (福)南会津会理事會、南会津地方土地開發公社精算人會(南會津町)、南會津建設事務所長來庁、只見高校野球部甲子園歸校式
- 25日 只見町議会全員協議會
- 29日 南會津地方振興局長離任挨拶來庁、電源開發(株)東日本支店新・旧支店長挨拶來庁、臨時庁議（新型コロナウイルス対策本部會議、豪雪対策本部會議）、南會津農林事務所長退職挨拶來庁、會津野球連盟兩沼野球協會事務局來庁
- 30日 只見町土地改良區理事會、總會、東北電力ネットワーク田島電力センター所長年度末挨拶來庁、(株)福島民報社會津若松支社長着任挨拶來庁、福島県立只見高等学校野球部甲子園出場後援會
- 31日 南會津地方環境衛生組合離任式（下郷町）、西部クリーンセンター離任式（南會津町）

町民の消息

(2月26日～3月25日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

河原田^{まお}茉緒 (女/祐太・真世) 梁 取

■おくやみ申し上げます

菅 家 長 年	93歳	布 沢
渡 部 千 代	78歳	福 井
目 黒 ミツエ	96歳	只 見
星 五 郎	90歳	荒 島
赤 塚 孝 夫	90歳	長 浜
長谷川 キミ子	87歳	只 見
佐 藤 英 正	91歳	小 林
鈴 木 京 一	88歳	黒 谷

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和4年3月1日現在

人 口	3,893 (-5)
男	1,913 (±0)
女	1,980 (-5)
世 帯 数	1,588 (-7)
高 齢 化 率	48.1%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 7 転出 8 出生 3 死亡 7

▽ご卒業された皆さん、おめでとうございます。新生活は不安もあるかもしれませんが、期待や夢の方がはるかに大きいと思います。新たなステージでも頑張ってください。▽SNSでは「只見高校」というワードが一時トレンド入りしました。多くの方が励まされたようでした。只見高校野球部とそれを支えた皆様、感動をありがとうございます。▽広報担当になり、2年が経ちました。イベントが少ない中でしたが多くの方に声をかけていただき只見町の皆さんの温かさを改めて実感しました。本当にありがとうございます。(小林)

あとがき

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

只見振興センター 図書紹介

只見振興センター図書室
☎82-2141

おすすめ新着図書

★ブラックボックス



砂川文次(講談社)

もっと遠くに行きたかった。今も行きたいと思っている。

自衛隊を辞め、今は自転車便メッセンジャーの仕事をしているサクマは、自分の中の怒りの爆発をなぜ止められないのだろう、と思いながら今日も都内をひた走る。

昼間走る街並みやそこかしこにあるであろう倉庫やオフィス、夜の生活の営み、どれもこれも明け透けに見えるようで見えない。

張りぼての向こう側に広がっているかもしれない実相に触れることはできない。

気鋭の実力派作家、新境地の傑作。

第166回芥川賞受賞作品

★おじいちゃんがおばけになったわけ



キム・フォップス・オーカソン
(あすなる書房)

死んじゃったはずのおじいちゃんが、土にも天使にもならず夜になって、エリックのところへやってきました。だけど、なんだかちょっとヘン……。

大切なことだけど、小さい子には少しむずかしいことを、じいじとのユーモアたっぷりの会話から、理解していくエリックの姿が心にしみるデンマークの絵本です。

○只見振興センターではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。



ツツドリ

(学名: *Cuculus optatus*)

(写真・文 太田祥作)

【カッコウ目カッコウ科】



▲ 雄の成鳥／尾羽が長く、腹部の横斑が目立つ。右は毛虫を食べる様子

4月下旬、只見町の山野に「ポポ、ポポ、ポポ…」と単調なリズムのくぐもった鳴き声が響くようになります。一度は耳にされた方もいることでしょう。この鳴き声の正体こそ、今回ご紹介するツツドリです。

ツツドリは、東南アジアから渡ってくる夏鳥で、全国的には4月中旬から飛来します。和名は、筒を叩くかのような独特の鳴き声に由来しています。長い尾や腹部の横斑が特徴ですが、警戒心が強いので、姿を見る機会は多くありません。写真のように芋虫や毛虫など、ガの幼虫を好んで食べます。

ツツドリが属するカッコウの仲間は、^{たくらん}托卵と呼ばれる独特の習性をもつことで有名です。これは、別の種の鳥（^{かりおや}仮親）に子育てを言わば丸投げするもので、ツツドリの雌は卵のある仮親の巣に侵入すると、1卵だけを抜き取り、自らの産んだ1卵とすげ替えて紛れ込ませます。ツツドリの卵は、^{ふか}仮親に見破られないよう仮親の卵とよく似た色模様をしています。その後いち早く^{ふか}孵化したツツドリの雛は、他の卵を全て巣から落とし、仮親からの養育を独占します。また、カッコウの仲間でも托卵相手は種によって異なり、ツツドリの場合はセンダイムシクイという小鳥への托卵が多いことが分かっています。しかし、托卵は必ずしも成功するとは限らず、仮親の方も学習して托卵された卵を取り除いたり、親鳥を排除したりするなどして対抗するようです。

2種の生物が互いに影響し合って進化することを共進化といい、カッコウの仲間と仮親の関係性はまさに共進化の好例です。

只見町ブナセンターからのお知らせ

「ただみ・ブナと川のミュージアム」で開催しておりました企画展「只見の猛禽類」は、好評につき会期延長の運びとなりました。ぜひお誘い合わせの上お越し下さい。

企画展「只見の猛禽類」

会 期：2021年12月4日(土)～2022年6月6日(月)

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー